

新山協ニュース

△ 発行者 平田大六

△ 発行所 新潟県山岳協会

〒940 長岡市学校町1-12-23

室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

年頭のあいさつ

副会長 小林兼一郎

新年あけましておめでとう
ございます。

明るい希望に満ちた平成6
年の新春を迎え、心からお慶
びいたします。

日頃県山協の事業活動に深
い御理解をいただき、多大な
ご支援とご協力を賜り厚く御
礼申し上げます。

昨年は年明けより異常気象
が続き、全国的に遭難が多発
しましたが、各団体では大き
な事故もなく過ぎました事は

喜ばしい事でした。

近年登山人口そのものは減
少していませんが、所属山岳
会の若者が減って、中高年登
山者が増え、組織的な山岳団
体の弱小化と、未組織者が多
くなっていると云われていま
す。

解決すべき問題は多くあり
ますが、財政基盤を強固にし
て、運営の健全化をはかり、
県民を対象にし、地域の中に
浸透した組織と体制づくり

謹賀新年

今年もよろしく願い申し上げます

平成6年元旦

新潟県山岳協会

会長	室賀輝男
副会長	小林兼一郎
理事長	平田大六
ほか	役員

心懸けて、協会としての存在
価値を積極的に展開しようと
はありませんか。

日山協の最近の活動方針も、
登山は精神主義だけでなく、
スポーツ登山の理念もふまえ、
オリンピックにもやがてとら
えられる、スポーツクライミ
ング等、国際競技団体を目指
しております。更に団体の重
要性をますます評価しており
ます。私共県山協も独自性を
失うことなく、会員相互の合
意を深めるよう、努力しよう
ではありませんか。

指導員制度が社会体育指導
者認定によって大きく変わ
りますが、私共としても重点的
地元の山紹介

大佐渡縦走路

佐渡山岳会

関雅志

佐渡は面積850平方Km、
周囲200Kmの日本海に浮か
ぶ島です。

この中に、大きく分けて大
佐渡山脈、小佐渡山脈そして
国仲平野があります。

島の最高峰が大佐渡の金北
山(1173m)です。
この金北山からドンデン山

に取組み会員相互のレベルア
ップとか加盟団体の強化をは
かるうではありませんか。

本年も海外交流登山をはじ
め、協会の事業も各委員会ご
とに多くの企画があります。
みなさんの熱意と連帯で、持
てる力を発揮して、登山を通
して県山岳会の充実に積極的
に取組んでまいりたいと考え
ます。会員の皆様におかれま
してもこれまで以上に卒直か
つ建設的なご提案をいたゞく
ようお願い致します。

今年も各加盟団体のますま
すの御発展と会員各位のご活
躍を心からお祈りいたします。

を経て金剛山へ至る高原ルー
トを、私達は「大佐渡縦走路」と
呼び、ホームグラウンドの山と
位置づけし、親しんでおりま
す。

この縦走路は標高8000m
から10000mの範囲に分布
しておりますので、植生上、

多種にして多様の山野草に恵まれております。

今回は、中でもメインルートとなる金北山→ドンデン山の紹介をします。

金北山は、昔より佐渡最高峰の故もあってか、信仰の対象でした。頂上には金北山神社の奥の院があり、かつては男子のみが参拜できる山でした。戦後の一時期、米軍により接収されてレーダーが設置され、院は頂上より撤去されるという現実を経験しました。

現在は、航空自衛隊が肩代りし、院も元に戻っております。近年は社域も逐次整備され、共存いたしております。これらのために、頂上まで車道が整備されています。しかし防衛道路であるため、山行の場合は、白雲荘→頂上間は徒歩となります。途中に地元金井町が天然記念物に指定する見事なブナ林等があり、登り約1時間20分程です。

神社で一休止し、これからまた上直下には、麓から続く幾筋かの登山道があります。

これらを常に左側に選択し、熊笹混じりの林の中を一気に下ると、そこに霧に霞む池があります。俗にあやめ池と呼ばれる場合がありますが、私どもは「カキツバタ池」と植生どうりの呼称を採用しています。7月が見頃のようなです。

ここからは平坦になり、灌木の中を進むと「足止め清水」そして「役の行者」に出くわします。以前は建物もあったのですが、今はその跡と数体の石仏が残っております。この石仏は、佐渡石仏群の中でも優れ物の一つと言える表情を備えております。

ここを過ぎると、もう少しで「馬乗り禿」に着く。金北山を出発してから小休止を含め1時間ほどです。この辺からツツジや石楠花等に植生が替わり、右手に国仲から、小佐渡そして遠く越後の山々が望め、左に外海府の岬や、日本海を望む独特の眺望が展開いたします。

シラバ・ガレバの入り交じった尾根筋を散策気分です。正面に望みながら進む、そ

して金北山より2時間「いもり平」に着く。ここは金北山→ドンデンのほぼ中間点にあたり、ややもすると道に惑い易い所でもあります。そして数少ない水場と一つの道標があります。

道標は、昭和62年に死去された当時の佐渡山岳会会長、村山経一郎氏を記念して私どもで設置したものです。氏は昭和44年に会長に就任し、当時衰退していた会活動を立て直し、今日の基礎を確立されました。また人望にも優れ、いま活動している者の多くが氏の薫陶をうけ、触発されました。

自分達で出来る最大の事として、本体の重量90kgをソリに乗せ、ロープで曳き、そして最後は背負子で運んで完成させました。この芝生で昼食を取ると風があつても、多少雨が降っていても、豚汁程度は作れる地形になっています。

イモリ平を越えようと、すぐガレの登りがあり、やがて真砂の芝生と呼ばれる平坦な高台になる。ここは景色の最も

良い所の一つで、特に紅葉の頃のそれが私は好きです。

やがて尾根道で唯一の左への分岐「石花(いしげ)越え」天気の良い日には東方向の海上に粟島が望めます。その旅人の名残として、付近にハマナスが咲いています。古人はここで一服し、浜で取った実を食べ、その種が峠に生き続けている、と推測しています。

ここを過ぎると後はイッキの登り、芝生の上をひととき高く尖ったマトネに向かう。佐渡では古くより、分水嶺

をトネ(刀根)と呼び、ここもその一つです。973mの頂上で休む。ここからは林の中に入る。途中の具合いによれば東方向の海上に粟島が望めます。

途中、青粘峠を通過する。ここを下れば40分程で麓の梅津発電所に着きます。広くなった道を10分も行く出口に「大佐渡自然歩道」の看板があります。後は車道を右上に歩けばド

概念図



ンデン山大佐渡ロッジです。所要時間、白雲荘より5時間、逆コースもほぼ同じです。

会ではこの縦走路を毎年7月の第一日曜に道伐を実施しております。

植生が豊か、と言うことの裏返しで、道を塞ぐ熊笹を始めとする木々その他の勢いが激しく、毎年ナタを振り、根

わがクラブ ⑤

糸魚川商工高校山岳部

本校の登山部は現在部員が5名と少人数、それもすべて3年生と部員の確保に毎年頭を痛めている現状である。北アルプスの山々のすぐ近くにある土地柄で登山活動には最適な地なのであるが、家のすぐ近くにいつも山があるせい

か、顧問のせいには知らないが男子のみそれも3年生主体のクラブになっている。そんな中でも、今の3年生は2年の4月(春休み)から月1回山へ行くことを目標に頑張ってきた。初めて山へ行く生徒達だったので、ご飯の炊き方、テントの立て方、天

比べをしております。

近年、相川警察署を始め、協力の輪が大きくなり、この行事に40名を越す方々の参加が続いております。

我がホームグラウンドの山が美しくかつ皆さんに愛される山であり続ける為に、なすべき事は何であれ取り組もうと会員一同もえております。

気図の書き方、そして近隣の山城(史跡)への山行トレ

ニング等が平常活動になってきた。今は、昨年ほどの活動はしていないが近隣の山(日帰りできる山)への山行を含め、月1回山へ行くことを目標にしている。現在の部員のうち2名は昨年の夏にアマチュア無線の免許を取得し、山行中はいつもハンディ機を携帯するようにしている。よく頑張った3年生だと思っ

ている。高体連の登山大会に参加するほか、部の単独の活動としては、5月：春山合宿(海谷

溪谷)、7・8月の夏山合宿(白馬岳・五龍岳)を基本に計画を立てている。昨年は、春休み中に雪山合宿(雨飾山)、秋山合宿として11月に初雪の積もった雨飾山へも行った。

合宿では、3年生だけだったので(昨年は2年生のみ)、かなりハードなスケジュールもあったが、比較的天候に恵まれることが多く、よい思い出の山行になっていると思う。

部員も少なく、顧問自身もそれほど経験があるわけではないので、顧問生徒共に一緒になって計画し、共同装備を持ちながらの山行というパターンになっている。

今後は、とにかく新入部員を確保し、地の利を生かした山行を計画したいと思っている。(片桐信治)



高体連秋季登山大会報告

新井高校 池田邦治

9月27、28日の二日間絶好の天気恵まれて笹ヶ峰、火打山を会場とした秋季大会は無事終了できた。秋にはめったにない好天が成功のカギであったかもしれない。

参加校 42校
参加生徒 男子 223人 女子 86人
顧問 67人

秋の大会としては例年の数で、第一日目には前高田高校教諭高野武男氏による「笹ヶ峰を廻る山々」と題してピツ

シリ90分の講演があり、私も初めて聞くことが多く大変いい勉強をさせていただいた。夜6時45分ごろよりキャン

プファイアがあり、ほとんどの生徒が参加したがレクがなかなか火がつかず長岡大手の司会者の女子が苦労していた。夜の就寝は比較的静かに例年よりマナーは良かったと思われた。

二日目先発隊の高田農の京谷、渡辺先生が5時出発、6時までに全参加校が出発を完了した。霜が降り車のフロン

トガラスが白く氷っていた。富士山、槍、後立山連峰を眺め歓声がわく、高谷池ではナナカマドやリンドウの花が美しかった。14時にはほぼキャンプ地に帰り、閉会式は14時15分より半谷委員長の講評と当番校の鈴木厚生新井高校校長より冬にトレーニングをしてほしいなどの話があった。終了となった。

秋季大会は審査員もなく割と自由に山行を楽しめるので参加率も高い。自由の中にもキビキビした自然体の行動が望まれるが、これらは山行を重ねるにつれ良くなるだろうと期待している。

新潟県で一番広いキャンプ地の笹ヶ峰。緯度的に火打山より北部にある日本の山々の中では火打山が一番高い。妙高山が父なら火打山は気品あふれる母といえよう。380名余りの心像の中に秋の日の美しい火打山などの風景は強く刻みこまれ美しい何かがある心から生れてくることだろう。

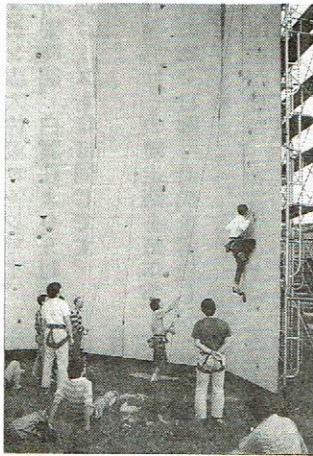
高体連岩登り顧問研修会報告

豊栄高校 堀 昌 明

去る10月15日、16日、新発田市杉滝岩にて標記顧問研修会が行われた。

社会人山岳会のように個人の責任で登山するのと異なり、顧問の管理責任が特に高い登山部の山行において、顧問の力量が必要とされる。そのため、高体連では遭難対策、夏、山、岩、雪上顧問研修会を行っている。

この岩登り研修会の目的は、岩登りを体験してもらうこと、ザイルの使用法を身につけてもらうことの2点である。新潟県の高校は山行で、11mmザイルを持っていくことが基本となっている。生徒が「重い」の使用法を顧問が知らなければならぬ。



すると山行で11mmのザイルは必要はないと思う。9mmでいいのではないだろうか。又期待できる用具とし

てはせいぜい他にシュリンゲ、カラビナくらいであろう。学校によっては生徒全員に持たせているが、万が一の時役に立つし、山生活にいろいろと使える。少なくとも数本は必要である。ハーネス、エイト環、ハンマー、ハーケン、ジヤンピング、ボルト等は期待は出来ない。

また、必要な結び方は8の字、ブーリン、マスト、半マスト、ダブルフィッシュャーマン、テープ、ブルージックで充分ではないだろうか。

必要な知識としては、アンカーの取り方、肩がらみ(ピレイを含む)、簡易ハーネス、エイト環の代りに使える半マスト制御、三点支持、フィックスザイルのセット、渡渉の方法ではないだろうか。

特にシュリンゲでできる簡易ハーネスは、生徒が肩がらみを間違った時等を考えれば、もっと普及してもよいのではないだろうか。

さて実際の顧問研修会は、15日、新潟高校での県内顧問会議後、新発田市農村婦人の家に移動したため、18時より開催。ザイルの結び方をマンツーマンでおこなう。

16日は朝7時からハーネス、ジャンピング、ボルト等用具の使用法等を行った後、杉滝岩に移動。初級と中級に別れた。初級はハーネスの付け方から始まりセルフブレイ、肩がらみ、エイト環下降、半マスト結び下降を駐車場の壁で行い、昼食後、Dフェースにて三点支持、トップの確保、セカンドの確保を行った。中級はアンカーの取り方、肩がらみ、エイト環下降の後、Dフェースにて三点支持、トップの確保、セカンドの確保を行った。その後、Cフェース、正面スラブで岩登りを経験した。運動靴が多く、それでも全員トライしていた。その後全員で紫雲寺の人工ボードへ移動し、体験したが、残念ながら一番簡単な5・8、5・9のルートは国体選手の強化のため、ホールドがなく、5・10、5・11ではほとんど登れず、触るだけであったのは残念である。また、渡渉は時間がなく、資料だけで割愛した。天候にも恵まれ、参加者は秋の一日を心地好い汗(冷や汗?)をかいていた。

高体連

役員改選

平成6年度役員が去る10月15日、新潟市新潟高校青山会館において選出された。

平成4年度会計報告、平成5年度予算の承認、行事報告と6年度行事日程と当番校の決定をみた後、1期2年の役員改選がおこなわれ、左記の通り承認された。

委員長 藤田善思(新潟)
副委員長 平田 昭

副委員長 佐藤 剛 (高田工業)

技術力向上委員長 (新発田)

新保雅稔 (長岡工業)

なお県山協より要請のあった登山部長の協会副会長就任の件は見送られた。

◎総体一次予選会

4月20日/22日

菱ヶ岳 上中越地区

巻機山 新潟下越地区

◎県総体

6月1日/3日

守門岳 全県

◎秋季県大会

9月27日/28日

粟ヶ岳 全県

◎北信越大会

6月17日/19日

小蓮華岳 北信越5県

「越後山岳」

第9号

日本山岳会

越後支部長

佐藤 一栄

ご案内が遅れましたが、日本山岳会越後支部の機関誌第9号が刊行されました。第8

号以降3年間に亘る会員の紀行、地誌、植物、論考、随想など28編を収載したもので、会員渡辺欣次氏による越後の山の美しい版画が彩りを添え、片岡博氏、小倉厚氏の寄稿も頂きました。

藤島初代支部長の遺稿「波富垂(オセアニア)記」は在りし日のお人柄が偲ばれる旅行日誌で、懐かしい面影が蘇ります。「深田久弥と頸城山塊」「越佐の山々散策」「越後の高山植物」「ナムチャ行五十首」「博士山今昔」「八十里越」などの充実した内容はご好評をいただけると確信しております。越後の山のガイドブックとしてもお役立てを願えば幸いです。

A5判 415頁

3000円

〒951 新潟市宮所通一番町 学生書房方 日本山岳会越後支部へ、はがきでお申込み下さい。

会報紹介

新潟山岳会(会長 高橋一郎)では会報くちなし1000号をこの度発刊された。内容は

は1992年度活動報告と特集御神楽岳が掲載されており376頁の大作である。山岳会が発足して23年が経ち、会報「くちなし」は新潟山岳会の前身である「くちなし山岳会」その前の「くちなしの会」からの発行で、当初は現理事の森田健さんの寝食を惜しんでの労力で、ガリ版刷りの会報「くちなし」が毎月会員の手に届けられた。

と、会長高橋氏は書いておられる。本号は新入会員のガイドブックになるよう頑張ったと書いてある通り、季節毎にまとめられ、県内外主要な山々の記録が掲載され、ヨーロッパ遠征の記録も加わる。圧巻は多年に渡り地域研究の場として活動されてきた御神楽岳の特集である。88頁にわたって長年の記録がまとめられてあり、問い合わせ先

〒953 西蒲原郡巻町東町29

高橋一郎

☎0256-7612343

指導者研修会通信欄より

岩山山岳会

第48回国体では誠にお世話になりました。皆様によりしくお伝え下さい。御盛会をお祈りします。(小田幸男)

分水山岳会

当会は冬山にはほとんど登りませんので、12月に入りますと山行もほとんど行われません。個人的には12月も登れる山があったら行きたいと思っておりますので、先輩や知人のアドバイスを受けている

アスタークジャパン

欠席ばかりで申し訳ございません。大変残念な事にこの12月19日当地大毛無山に新しいスキー場がオープンします。保護運動に力を尽くすことな

と今を迎え、自責の念から来ています。お世話になった高橋(秀)、後藤(邦)両氏をはじめ協会の皆様方に宜しくお伝え下さいませ。H6はガンバリマス。(丸山邦男)

秀峰山岳会

12月5日は当会のザイル納めの日でもあり、運営委員長として当日昼より資料作り等の作業があるため、大変申し訳ありませんが欠席させていただきます。(増田繁雄)

加治川山の会

ごぶさたしております。12月5日大峰山の小屋チェリーヒュッテの山じまいと、会の忘年会の為残念ながら欠席で

弥彦山岳会

5年前から新潟より吉田まで約40km歩いてきたが、今年11月に弥彦山塊一周を歩いてみた。平坦地とはいえ登山より疲れが激しかったが、歩き方の工夫が又進歩したのではないかと自己満足している。(山崎幸和)

さわがに山岳会

今年は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

今年度は会員を事故で亡くし、僅か4名で梅海新道の子守りが大変でした。理研ピストンWV、共栄電工社員のボランティア応援もあり何とか整備ができました。梅海山荘前にヘリポート兼テント場が完成。(小野健)

さわかに山岳会

す。
(下條莊市)

新大山の会

日頃お世話になり誠に有難うございます。先般の指導員更新講習におり悪しく欠席となり、資格が無くなったと思っております。残念ですが当方の都合の為あきらめておりました。
(嶋倉幸夫)

高田ハイキングクラブ

休日の毎にクライミング、山に出かけており体の休まる日がありません。
(稲田春男)

十日町山路野会

山路野会では一般市民対象とした市民ハイキングを、春秋年2回募集してやっております。
(根津芳雄)

朝路の会

山スキーの準備で火打山の高谷池ヒュッテへ荷上げて来ました。又折を見て県山協の行事に参加させて頂きます。
(事務局 浅野)

春山講習会

案内

期日 平成6年3月12日(土)

1994年中国青海高校生登山交流大会計画

新潟県山岳協会主催、第二回中国青海国際高校生登山交流会の概況
(日程、計画内容については、多少の変更もあります)

期 日 1994年7月26日～8月15日
場 所 中国青海省
登山目標 野牛山(4898.3m)
登山方法 新潟県高校生、中国高校生との交流登山
経 費 25万円(パスポート、ビザの取得申請料は別)

7月26日	横浜港乗船	新潟県～横浜列車	
7月27日			船中
7月28日			船中
7月29日	上海着	市内見学	ホテル
7月30日	上海～西寧	飛行機	青海賓館
7月31日	西寧滞在	荷物整理	青海賓館
8月1日	西寧～BC	BC標高3200m	BC
8月2日	BC～AC	AC標高4200m	AC
8月3日	AC～野牛山～AC	山頂アタック	AC
8月4日	AC～BC	撤収	BC
8月5日	BC～青海湖	青海湖、日月山見学	キャンプ
8月6日	青海湖～多巴	高地トレーニングセンター 2360m見学	多巴ホテル
8月7日	多巴～西寧	交流、交歓会	青海賓館
8月8日	西寧～	列車の旅	車中
8月9日	～西安	碑林、城壁、大雁塔見学	唐城賓館
8月10日	西安滞在	兵馬俑、華清池見学	唐城賓館
8月11日	西安～上海	飛行機、上海市内見学	ホテル
8月12日	上海滞在	市内見学	ホテル
8月13日	上海港乗船		船中
8月14日			船中
8月15日	神戸港着	神戸～新潟県列車	帰宅

申込一時集約 1994年2月末日

申込者・希望者説明会 3月12日～13日 会場 長岡

最終締め切り 1994年4月20日 予定

問い合わせ先 新潟県山岳協会海外登山委員会 藤井 信 ☎0258-32-4835

詳細の要項、参加申し込み書については後日連絡します。

13日(日)
会場 粟ヶ岳又はその周辺
宿泊 下田村八木前
下田村自然教育センター
日程 3月12日(土)
17時～17時30分 集合
18時～19時 講演
19時30分～22時 夕食懇親

3月13日(日)
6時 出発 春山技術講習
13時頃 自然教育センター
着、昼食・解散
参加費 2000円
装備 春山日帰り装備
寝具不要
申込 秀峰山岳会 小林由夫

三条市西四日町1-4-20
☎0256-3214198
準備の都合上2月末日までに申し込んでください。
詳細は次号ニュースに掲載します。

おくやみ
下越山岳会の佐久間惇
一さんが、去る12月5日
逝去されました。
ここに謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。